

科目		動物臨床看護学実習		
担当講師 白石 史絵 実務経験有 統一認定動物看護師免許 動物病院師長 動物病院に動物看護師として20年従事 担当講師 合志 潤子 実務経験有 統一認定動物看護師免許 動物病院看護師長 動物病院に動物看護師として20年従事				
開講年次		授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護学科 2年次前後期		実習	必修	50
授業目標 基礎で習得した知識を実践とし、診療現場に必要な観察力および看護法に関する基本的手技を身につける。また手順や要領を考えた行動から問題解決能力や看護実践能力を身につける。診療補助、輸液管理、シリンジの扱い、衛生管理、入院管理、調剤、グルーミングについて学ぶ。				
成績評価の方法 評価の基準は実習レポートと筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。				
教材 動物看護コアテキスト6巻 (P1～372 ファームプレス) 動物看護実習テキスト (インターズー)				
授業計画 毎週金曜日 3限目 13:20～14:50				
回	テーマ	授業内容		
1	身体検査	飼育動物の身体検査、保定		
2	カルテ用語、記入	基礎情報診療内容をカルテに記入		
3	手術管理	術前、術中、術後のモニタリング準備		
4	医薬品の取扱い	正しい取扱い、管理、廃棄について		
5	〃	調剤、薬用量計算		
6	創傷管理、包帯法	それぞれの管理、手技		
7	衛生管理、入院管理	滅菌、消毒、殺菌、感染動物の取扱い		
8	輸液管理①	輸液概論		
9	〃 ②	輸液動物のモニタリング		
10	〃 ③	輸液準備、静脈確保実習		
11	血液について	血液塗抹標本作成		
12	心電図について	心電図のしくみ、モニタリング		
13	疼痛の基礎知識	疼痛の種類、特徴、管理		
14	重症動物の栄養補助	栄養チューブ、カテーテル給餌		
15	身だしなみ、掃除の必要性			
16	動物看護師として心構え、役割			
17	保定の必要性、役割			
18	保定実習			
19	エキゾチックアニマルの生態、特徴、保定など			